

5月24日(月)

## 法は人を殺す

聖書朗読 ローマ 7:7~25

私たちの主イエス・キリストのゆえに、ただ神に感謝します。

ローマ 7:25

ある学生が泣きながら教授のオフィスを訪れました。彼女はひどくうなだれ、落ち込んでいました。彼女はテストの結果について教授に話があったのです。

「どうしましたか?大丈夫ですか?」と教授が彼女に聞くと、彼女は「テストで大失敗してしまい、落ち込んでいます。本当に残念です。もっとうまくやりたかったです。」

すると教授は彼女のテスト結果を見て「でも、君の点数は97点だよ。ほぼ満点だよ。何故立っているの?」と言いました。

女子学生は言いました。「はい、でも私は100点がほしかったんです。私はこのテストのために全力を尽くしました。何日も勉強して備えました。ノートも丁寧にとりました。教授を失望させてしまって申し訳ありません。」

完璧主義は身を滅ぼします。喜びを奪います。イエス様以外に完璧な人はいません。そして、義なる裁き人は、めぐみを注ぐ屠られた子羊です。イエス様は私たちに完璧ではなく、正しい者であるよう求めています。私たちのではなく、イエス様のみわがが私たちの価値を決めるのです。そして神のめぐみに感謝を捧げる時が、私たちにとって一番の喜びの時です。

聖歌 291

祈り 親愛なる主、あなた様のめぐみに感謝いたします。犯してしまった過ちによって身を滅ぼすことがないよう、あなた様の愛によって正しい行いができるようお助けください。主よ、私達は墮落した人間です。あなた様のめぐみ、許し、愛が頼りです。

イエス様のお名前によって。アーメン。

デイロン・ドリティ  
カリフォルニア州 マリブ

## 今日のカ

2021年5月24日~5月30日

翻訳 阿部 やよい

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

5月25日(火)

## とりなし

聖書朗読 ローマ人への手紙 8：22～30

したがって、ご自分によって神に近づく人々を、完全に救うことができなくなります。キリストはいつも生きていて、彼らのために、とりなしをしておられるからです。  
ヘブル7：25

私たちがどれほど酷い罪を犯していようと、イエス様は神と私たちの壊れた絆を修復してくださいました。私たちが救われる唯一の方法は、主イエス・キリストのめぐみによってです(使徒の働き15：11)。ヨハネの福音書17章20節から26節で、イエス様があなたと私のために祈ってくださったことを知ることで、私たちはどれほど心が癒やされることでしょうか。更にいいのは、イエス様は今このときも神の右に座っておられ、日々私たちのために神と私たちの間をとりなしてくださっています。なんという祝福でしょう！

ヘブル人への手紙4章14節から16節では、イエス様は私たちの大祭司で、私たちの弱さを思いやることのできるお方であると記されています。もちろん、だからといって罪を犯してよいわけではありません。これは聖霊との協力関係です。私は、神に対して罪を犯さぬよう、可能な限り自分の役割を果たそうと思います。聖霊は私たちの力を超えて働き、私が神に誠実であり続けられるよう助けてくれます。(ヨハネ14：15～18)

神は私たちの理解を遥かに超えたすばらしいお方です。神の日々の祝福は絶大です。

最後に、キリストを通した神との特別な関係によって、私たちは祈り、行いを通して、すべての人々、とりわけ神の家族である教会のメンバーのためにとりなしを行うよう求められています(ガラテヤ6：10)。神は私たちにとっては本当にすばらしい御方です。ですから私たちが周りの人々にとってすばらしい人となりましょう(Iヨハネ3：16～18)。

讃美歌 217

祈り 親愛なるご在天のお父様、あなた様の私へのめぐみに感謝いたします。あなた様からのめぐみを私の周りの人へ引き渡せるようお助けください。イエス様のお名前でお祈りします。アーメン。

ロン・グロス  
コロラド州 キャノンシティ

5月26日(水)

## 誇ってはいけません

聖書朗読 ローマ11：17～24

彼らは不信仰によって折られ、あなたは信仰によって立っています。高ぶらないで、帰って恐れなさい。  
ローマ11：20

ローマにいる異邦人たちは問題を抱えているのでパウロは恐れしました。異邦人たちは、殆どのユダヤ人が拒んだ富を受け取りました。ときに富は人を高ぶらせます。富は人を自慢好きにし、うぬぼれさせ、批判的にさせます。

パウロは異邦人たちに誇ることをないよう、彼らが救いの木に接ぎ木された存在であることを怖れるよう警告しました！もし彼らが高慢になったら、神は容赦なく彼らを切り捨てるかもしれません。「もし神が台木の枝を惜しまれなかつたとすれば、あなたをも惜しまれないでしょう」(11：21)。

神は私たちのうぬぼれに頭を悩ませています！このうぬぼれに神はほとんど何もできません。なぜならそのような人は自分一人で何でもできると思っているからです。彼らは助けを必要としていないのです。彼らは神を必要としていないのです！そのため、「神は高ぶる者を退け、へりくだる者にめぐみをお授けになる」(ヤコブ4：6)。

人として、私たちは大いに恵まれています。しかし、自分一人で何でもできると思ってしまうことがあります。気をつけなければなりません！昔の民を神が拒絶し、その代わりに異邦人たちもまた拒絶すると脅したように、神は高ぶった思いを持っている私たちを拒絶するかもしれません。

讃美歌 321

祈り 主よ、あなた様以外は私にはなにもないことを、謙虚に受け止める心を私にお与えください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

トム オルブライト

5月27日(木)

## 神の御座

聖書朗読 ローマ 12:9~21

義と公正は、あなたの王座の基。恵みとまことは、御前に先立ちます。

詩篇89:14

ヤコブが死んだ時、ヨセフの兄弟たちは、ヨセフがかつて彼にしたこと全てに対して仕返しをしてくるに違いないと思っていました、しかし、ヨセフは言いました。「恐れることはありません。どうして、私が神の代わりでしょうか？」(創世記50:19) ヨセフは神の御座に座って兄弟たちを裁くことを拒否しました。

私は、神の御座に上がり他人を裁いてしまうことがあります。私たちは皆、そうではないでしょうか？

イエス様はおっしゃられました。「また、なぜあなたは、兄弟の目の中のちりに目をつけるが、自分の目の中の針には気づかないのですか？」(マタイの7:3)

私たちは、自分の罪故に人を責めたり、弱い者を見下しがちです。イエス様は、そのような者たちを偽善者といいます(マタイ7:5、ローマ2:1)。

ある人が言いました。「他人が犯した罪に驚くのと同じくらい、正直にいうと、それよりももっと自身の罪に驚き、そして怒りを感じる。」

私たちはヨセフからとても価値のあることを学ぶことができます。自身を神の御座に置くのはやめましょう。パウロは私たちに言います。「私たちは、おのおの自分のことを神の御前に申し開きをすることになります。ですから、私たちは、もはや互いにさばき合うことのないようにしましょう。いや、それ以上に、兄弟にとって妨げになるもの、つまずきになるものを置かないように決心しなさい。」(ローマ14:12~13) 自分にしてもらいことは、他の人にもそのようにしましょう(マタイ7:12)。

讚美歌 239

祈り 親愛なるご在天のお父様、批判することなく、偽善者にならないようお助けください。そうではなく、あなた様が私にたち与えてくださった恵みを他の人に分け与えることができるようお助けください。

イエス様のお名前によってお願い致します。アーメン。

ロン グロス  
コロラド州キャノンシティ

5月28日(金)

## 神は道を示して下さいます

聖書朗読 Iコリント 10:6~13

神は真実な方ですから、あなたがたを耐えることのできないような試練に合わせるようなことをなさいません。  
Iコリント 10:13

今日の聖句は、他の人も私と同じ問題や試練に直面していることを知ることができる私の好きな句の中の一つです。この句は人生でどのようなことが起きても、希望を与えてくれます。神は私達を暗闇から明かりの中へと導いて下さいます。

我らの父は、私たちが道に迷うことを望んでおられません。もし迷い、自分で道を見つけることができなくなったら、神は私たちが正しい道を見ることができるよう、その道を見易くして下さいます

この先、私たちは試練や試みに会い、二度と正しい道を見つられないのではと思うときがあるかもしれません。万事休すのように思った時、私たちは自分一人で乗り越えることはできないことを受け入れる必要があります。そして、どんな試練も乗り越える強さを私たちに与えてくださる主に助けを求めるのです。

誰も自分が聖なる者と思ってはならない。

それは試みにあっていないから。

最も聖なる、高き御方は全ての試みに会っている。

高ければ高い丘ほど、そこには強い風が吹く

暮らしが贅沢になればなるほど、敵からの試みは恐ろしい。

ジョン ウィリフ

讚美歌 294

祈り 聖なるお父様、神の永遠の御国にある家へと導いてくださるみことばに感謝致します。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ジーン・ニュートン  
フロリダ州 マウントドラ

5月29日(土)

## あなたの歩み方

聖書朗読 エペソ 5:8~20

神のうちにとどまっていると言う者は、自分でもキリストが歩まれたように歩まなければなりません。  
Iヨハネ 2:6

歩くとは、一つの足をもう一つの足の前に出すことですよね？腕を大きく振って早く歩く、フィットネスウォーキングというのがありますが、今日は、神とともに日々歩く、私たちの霊的な歩みについて考えてみましょう。

神は私たちに注意深く歩んでほしいと思っておられます。エペソ人への手紙5章では、賢い者のように歩き、今の時を生かして用い、神の御旨が何であるかを悟りなさいと書かれています。これはただの日々の散歩ではありません。アダムとイブは神と共に園の中に歩み入りました。そして、アブラハムは彼の信仰ゆえに、新しい国へと歩みはじめました！

人生を歩むことに疲れていませんか？パウロは、試練を通して、御国への歩みは、私たち自身の勢いや力によってできることではないことを教えてくれています。「私は言います。御霊によって歩みなさい。そうすれば、決して肉の欲望を満足させるようなことはありません。」(ガラテヤ5:16~17) 信仰によって歩み続け、悪魔からの誘惑にあらがい、最後まで信仰を持ち続ける力が欲しくありませんか？「信仰によって歩む」はただの人目を引くスローガンではありません。神と共に歩むことを望んでいる全ての人々のための聖なる計画なのです。

讃美歌 270

祈り お父様、私たちの歩みを気にかけてくださる御方、あなた様からの助けを求めます。あなた様が約束してくださった通り、いつのときもあなた様が私と共に歩いてくださっていることを信じます。主よ、感謝致します！

イエス様のお名前によって。アーメン。

ダニー マイズ  
テキサス州 アマリロ

5月30日(日)

## 深く思う

聖書朗読 ピリピ 4:4~9

あなたに罪を犯さないため、私は、あなたのことばを心にたくわえました。  
詩篇 119:11

聖書を持って行っては行けない場所があると言った友人がいました。あなたは行くところ全てに聖書を持っていきますか？仕事中や、買い物中、庭の手入れ中などは聖書を読むのは難しいと思うでしょう。

私たちは神のみことばをどこにでも、職場、ジム、シャワーの中でさえも持っていくことができます。どのようにしてでしょうか？それは、好きな聖句を暗記し、必要なときにそれを思い出すことによってです。

でも、暗記するのが苦手な人も多いです！もし好きな歌を頭から最後まで歌うことができるのなら、聖句を暗記することもできるでしょう。きっと驚きますよ！今日の聖句のように短い句から始めてみませんか。

暗記を習得するには、時間も、労力も、練習も必要です。神はヨシュアに、みことばを昼も夜も思うことで道は栄え、勝利を得るとおっしゃいました。(ヨシュア1:8~9) 神のみことばを思うことは、選択肢ではなく、命令なのです。(箴言7:1~3)

みことばを覚えることを約束してください。どのように始めたらよいでしょうか？覚えるスキルを身につける手助けを神にお願いしましょう。そうすればどこにでもみことばを持っていくことができます(詩篇1:2)。

讃美歌 II 80

祈り 親愛なるお父様、昼も夜もいつもみことばを心に留め、それを中心に生活ができるようお助けください。

イエス様のお名前によって。アーメン。

ロン・グロス  
コロラド州 キャノンシティ